

2010年度 一般1月入学試験

# 世界史

## 〔注 意 事 項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は17ページ、解答用紙はマーク・シート1枚です。監督者の指示に従って確認しなさい。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
4. マークは、マーク・シートに記載してある「記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。
5. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
6. 監督者の指示があってから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 世界史

(60分 100点)

I 古代地中海世界について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

(40点)

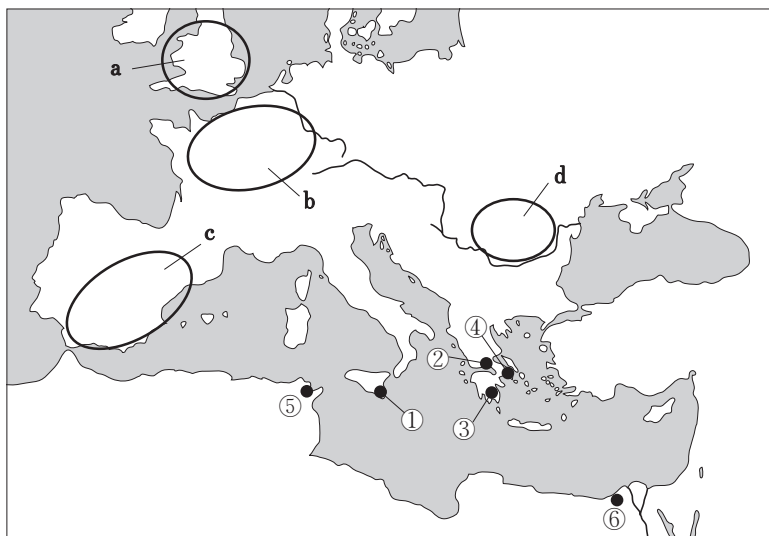
ギリシアでは、前8世紀に入るとポリスが各地に形成され、前8世紀半ば以降、黒海や地中海の沿岸に進出して植民市を建設していった。それぞれのポリスは独立国家であり、それらが統一国家をつくることはなかったが、お互いに同一民族としての自覚をもち、自分たちを [ 1 ] とよんだ。ポリスの中で有力だったのが、アテネとスパルタであった。前5世紀はじめ、アケメネス朝ペルシアに対して<sup>(1)</sup>[ 2 ]<sup>(2)</sup>を中心とするイオニア地方のギリシア人植民市が反乱をおこし、これを支援したアテネに対してアケメネス朝の [ 3 ] は遠征軍を派遣し、ペルシア戦争がはじまった。ギリシアの諸ポリスは、ポリス世界の自由を守るために連合して戦い、ペルシア軍を撃退した。戦争勝利後、ペルシア再攻に備えてアテネを盟主とする [ 4 ] が結ばれ、アテネは同盟諸国に対する支配力を強めた。前5世紀半ばころには、 [ 5 ] のもとでアテネ民主政が完成された。一方でスパルタはアテネの強大化を危惧し、前431年には、ギリシアを二分する戦争がおこり、スパルタ側がアテネ側に勝利した。<sup>(3)</sup> その後もポリス間の抗争が相次ぎ、ポリスは衰退していった。

前4世紀後半、ギリシアの北方に位置する [ 6 ] はフィリッポス2世のもとで勢力を拡大し、前338年の [ 7 ] の戦いでアテネ・テーベ連合軍を破り、ほぼすべてのギリシアのポリスを支配下においた。その子アレクサンドロス大王は、前334年東方遠征に出発し、アケメネス朝を滅ぼしたのち、中央アジアからインド北西部まで征服し大帝国を建設した。アレクサンドロス大王が急死すると、その後継者をめぐる争いがおこり、帝国はアンティゴノス朝 [ 6 ] ・セレウコス朝シリア・プトレマイオス朝エジプトなどに分裂した。アレクサンドロス大王の東方遠征か<sup>(4)</sup>

らプトレマイオス朝エジプトの滅亡までの約300年間はヘレニズム時代とよばれる。

一方、前6世紀末に  の王を追放して共和政となったローマでは、はやくから平民と貴族との身分間闘争がおこった。平民は次第に権利を獲得していき、前287年の  により、平民と貴族の政治的権利の平等が達成された。前3世紀前半に全イタリア半島を支配したローマは、カルタゴと対立し、3回にわたるポエニ戦争がおこった。ローマはこれに勝利し、前2世紀半ばには地中海全体をほぼ制覇した。この間、ローマ本国では、中小農民が没落する一方で、有力者の大土地所有が進み貧富の差が広がった。前1世紀前半には、閥族派と平民派との抗争やローマ市民権を求める同盟都市の反乱などがおこり、混乱が続いた。この混乱を鎮めたのが  ・カエサル・クラッススの3人で、彼らが前60年に政治同盟を結んで政権を握った。その中で、ガリア遠征に成功したカエサルが有力となり、 を倒して独裁官となったが、前44年に元老院の共和派に暗殺された。翌年、カエサルの養子オクタウィアヌスと、カエサルの部下アントニウスとレピドゥスが政治同盟を結んだ。その後オクタウィアヌスは、エジプト女王クレオパトラと手を結んだアントニウスを前31年にアクティウムの海戦で破り、プトレマイオス朝を滅ぼしてローマの地中海制覇を実現した。オクタウィアヌスは、元老院からアウグストゥスの称号を与えられ、事実上の帝政である元首政を開始した。帝政の成立から五賢帝の時代の終わりまでの約200年間は、「ローマの平和」とよばれ、ローマ繁栄の時代となった。

地図A



問1 文中の空欄  ～  に入る語句として適当なものを、次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。  ～

- ① バルバロイ ② ヘイロータイ  
③ ペリオイコイ ④ ヘレネス

- ① ミレトス ② ティリンス  
③ サルデス ④ デルフォイ

- ① カンビュセス2世 ② キュロス2世  
③ ダレイオス1世 ④ ダレイオス3世

- ① コリントス同盟 ② デロス同盟  
③ ペロポネソス同盟 ④ 隣保同盟

- ① クレイステネス ② ソロン  
③ ペイストラトス ④ ペリクレス

- ① リディア ② バクトリア  
③ パルティア ④ マケドニア

- ① アルベラ ② イッソス  
③ カイロネイア ④ テルモピレー

- ① アイオリス人 ② エトルリア人  
③ アカイア人 ④ ラテン人

- ① ドラコンの立法 ② リキニウス・セクスティウス法  
③ 十二表法 ④ ホルテンシウス法

10

- ① スラ  
② ブルートゥス  
③ ポンペイウス  
④ マリウス

問2 文中の下線部(1)の都市の位置を，地図Aの①～⑥の中から1つ選びマークしなさい。 11

問3 文中の下線部(2)についての説明として正しいものを，次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 12

- ① イオニア人が先住民を征服してポリスを建設した。  
② 軍事力では特に海軍が強力であった。  
③ リュクルゴスの制とよばれる独特の制度がとられた。  
④ 財産額によって市民の参政権が定められた。

問4 文中の下線部(3)に関連して，この戦争史を厳密な史料批判に基づいて記述したとされる歴史家を，次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 13

- ① エウリピデス  
② トゥキディデス  
③ ヘシオドス  
④ ヘロドトス

問5 文中の下線部(4)の都で，ヘレニズム文化の中心として栄えた都市を，次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 14

- ① アレクサンドリア  
② アンティオキア  
③ カイロ  
④ メンフィス

問6 文中の下線部(5)に関連して、この時代の哲学者を、次の①～④の中から1つ  
選びマークしなさい。 15

- |        |          |
|--------|----------|
| ① ゼノン  | ② ソクラテス  |
| ③ プラトン | ④ プロタゴラス |

問7 文中の下線部(6)の都市の位置を、地図Aの①～⑥の中から1つ選びマーク  
しなさい。 16

問8 文中の下線部(7)に関する説明aとbの正誤の組合せとして正しいものを、下  
の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 17

- a ローマはシチリア島を獲得し、これを属州とした。  
b ローマはハンニバルの活躍などにより、この戦争に勝利した。

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① a－正 | b－正 | ② a－正 | b－誤 |
| ③ a－誤 | b－正 | ④ a－誤 | b－誤 |

問9 文中の下線部(8)についての説明として正しいものを、次の①～④の中から1  
つ選びマークしなさい。 18

- ① この大土地所有はコロナトゥスとよばれた。
- ② 多数の戦争捕虜が奴隷として労働力に使われた。
- ③ グラックス兄弟の改革以後には、大土地所有は制限された。
- ④ これらの土地は、主として小作人によって耕作された。

問10 地図Aのa～dのうち、文中の下線部(9)の地域として最も適切なものを、  
次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 19

- ① a                      ② b                      ③ c                      ④ d

問11 文中の下線部(10)の一人を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

20

- ① コンスタンティヌス帝                      ② ディオクレティアヌス帝  
③ テオドシウス帝                              ④ トラヤヌス帝

Ⅱ 中南米の歴史について述べた次の文章A・Bを読んで、以下の問いに答えなさい。  
(30点)

A 中央アメリカのメキシコ高原や南アメリカのアンデス高地では、前2千年紀から [ 21 ] やジャガイモなどを栽培する農耕定住社会が出現し、独自の文化が形成された。

メキシコ湾岸では、前1000年ごろまでにはオルメカ文明が成立していた。その影響はメキシコ一帯に広がり、前2世紀にはメキシコ高原にテオティワカン文明が栄えた。また、4世紀からユカタン半島を中心に絵文字や二十進法などをもつ [ 22 ] 文明が栄えた。12世紀ごろ、メキシコ高原に移住してきたアステカ人は、14世紀にはテノチティランを首都とする王国を建てた。一方、南アメリカのアンデス高地では、15世紀後半に、ケチュア族が広大なインカ帝国を形成した。首都 [ 23 ] には、すぐれた石造建築技術を用いた<sup>(1)</sup>神殿や国王の宮殿が建てられた。

16世紀になると、スペインがアメリカ大陸への征服活動を行った。コルテスがアステカ王国を滅ぼしてメキシコを征服し、 [ 24 ] がインカ帝国を滅ぼしてペルーを征服するなど、 [ 25 ] を除く中南米のほとんどの地域がスペイン領となった。スペイン人は、これらの植民地で鉱山の開発および農園経営などの植民地経営を推し進めた。<sup>(2)</sup>16世紀半ばにはポトシ銀山やサカテカス銀山などの有力な銀山が見つかった。こうしたラテンアメリカの銀山から大量の銀がヨーロッパに流入し、価格革命がおきた。<sup>(3)</sup>



問1 文中の空欄  ～  に入る語句として適当なものを，次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。  ～

- |    |        |          |
|----|--------|----------|
| 21 | ① アワ   | ② 小麦     |
|    | ③ タロイモ | ④ トウモロコシ |

- |    |        |        |
|----|--------|--------|
| 22 | ① チャビン | ② トルテカ |
|    | ③ マヤ   | ④ ナスカ  |

- |    |           |          |
|----|-----------|----------|
| 23 | ① クスコ     | ② ティアワナコ |
|    | ③ マチュ=ピチュ | ④ リマ     |

- |    |        |        |
|----|--------|--------|
| 24 | ① カブラル | ② バルボア |
|    | ③ ピサロ  | ④ マゼラン |

- |    |          |         |
|----|----------|---------|
| 25 | ① アルゼンチン | ② ウルグアイ |
|    | ③ パラグアイ  | ④ ブラジル  |

問2 文中の下線部(1)についての説明として正しいものを，次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 太陽のピラミッドとよばれる建築物を残した。
- ② 鉄器を利用することで領土を拡大した。
- ③ 独特の象形文字を使用していた。
- ④ 縄の結び方などで情報を伝えるキープによって記録を残した。

問3 文中の下線部(2)に関連して、16世紀初頭からスペインが採用した土地制度で、先住民のキリスト教化を条件にスペイン人植民者が先住民を労働力として使役することを認めた制度を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

27

- ① アシエンダ制
- ② エンコミエンダ制
- ③ ザミンダーリー制
- ④ ゲーツヘルシャフト

問4 文中の下線部(3)についての説明として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

28

- ① 固定地代で生活していた領主に打撃を与えた。
- ② 全ヨーロッパ的な物価の下落を招いた。
- ③ 南ドイツで銀山を独占経営していたメディチ家が没落した。
- ④ 遠隔地貿易の中心地が北イタリア都市からバルト海沿岸都市に移った。

B 19世紀初頭、植民地支配を受けていたラテンアメリカ諸国では、アメリカ合衆国の独立やフランス革命に刺激されて、独立の気運が高まっていった。<sup>(4)</sup>1804年、史上初の黒人共和国が樹立され、さらに、ヨーロッパでスペインなどがナポレオンに占領されたのを機にラテンアメリカ諸国の独立運動が進展した。1810年代以降、の指導によりベネズエラ、コロンビア、ボリビアなどが独立し、1830年までにカリブ海を除くラテンアメリカの大半が独立国となった。ウィーン会議の議長であったはこれらの独立運動に干渉しようとしたが、イギリスやアメリカ合衆国が独立を支持したため、失敗に終わった。

<sup>(6)</sup>独立後のラテンアメリカ諸国では、独立運動の中心となった植民地生まれの白人であるの大地主による寡頭支配や、複雑な民族構成などにより、社会的に不安定な状態が続いた。19世紀末以降は、帝国主義政策をすすめるアメリカ合衆国がラテンアメリカ諸国に対する影響力を強めていった。<sup>(7)</sup>

問5 文中の空欄  ～  に入る語句として適当なものを、次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。  ～

- |                                 |            |                 |
|---------------------------------|------------|-----------------|
| <input type="text" value="29"/> | ① イダルゴ     | ② サン＝マルティン      |
|                                 | ③ シモン＝ボリバル | ④ トゥサン＝ルヴェルチュール |

- |                                 |         |          |
|---------------------------------|---------|----------|
| <input type="text" value="30"/> | ① カニング  | ② タレーラン  |
|                                 | ③ ビスマルク | ④ メッテルニヒ |

- |                                 |          |          |
|---------------------------------|----------|----------|
| <input type="text" value="31"/> | ① インディオ  | ② クリオーリョ |
|                                 | ③ メスティーツ | ④ ムラート   |

問6 文中の下線部(4)に関する説明として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① アメリカ独立宣言は、ロックの思想の影響を受け、トマス＝ジェファソンらによって起草された。
- ② アメリカ合衆国憲法が制定され、黒人や先住民の権利が認められた。
- ③ フランスの国民議会は、人間の自由・平等を認めるフランス人権宣言を採択した。
- ④ フランスの国民公会は、男性の普通選挙制などを定めた1793年憲法を採択した。

問7 文中の下線部(5)の国の位置とその独立直前の旧宗主国の組合せとして正しいものを、下の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

33



- ① a-スペイン
- ② a-フランス
- ③ b-スペイン
- ④ b-フランス

問8 文中の下線部(6)に関連して、アメリカ大陸とヨーロッパの相互不干渉をとらえた、この時の大統領を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

34

- ① ジェファソン
- ② ジャクソン
- ③ モンロー
- ④ ワシントン

問9 文中の下線部(7)に関する説明として誤っているものを，次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

35

- ① メキシコのマデロ大統領は，アメリカの支援をうけフランス軍を退けた。
- ② アメリカ＝スペイン戦争の結果，アメリカはプエルトリコを獲得した。
- ③ アメリカのセオドア＝ローズヴェルト大統領は，積極的なカリブ海政策を推進した。
- ④ パナマ運河が完成すると，アメリカはその管理権を握った。

Ⅲ 19世紀末から20世紀における中国について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(30点)

日清戦争で敗れた清に対して、帝国主義列強は利権獲得競争に乗り出した。こうした列強の進出に対して、排外運動が広がり [ 36 ] が発生したが、列強8カ国の連合軍により鎮圧された。

1911年、四川省で暴動がおこり、これをきっかけとして湖北省で革命派が蜂起し、辛亥革命がはじまった。1912年1月には孫文を臨時大總統とする中華民国の建国が宣言された。清朝側の北洋軍を率いていた袁世凱は、孫文との密約に基づき清朝皇帝を退位させ、清朝は滅亡した。袁世凱は臨時大總統の地位を孫文から譲り受け、独裁政治を推し進めようとしたが、国民党の抵抗などもあって失敗した。袁世凱の死後、列強の援助をうけた軍閥が各地に割拠する不安定な状態が十数年続くこととなった。中国周辺部では、辛亥革命をきっかけとして独立をめざす動きがおこった。1911年に清朝からの独立を宣言した [ 37 ] は、1924年にはソ連に続く第2番目の社会主義国となった。

1921年にはコミンテルンの支援をうけて中国共産党が結成され、孫文も国民党の強化をめざして1924年に国民党を改組した。国民党は「連ソ・容共・扶助工農」をかかげて中国共産党と提携し、打倒軍閥・打倒帝国主義路線を打ち出した。1925年、上海の紡績工場の労働争議をきっかけに [ 38 ] がおこり、全国に反帝国主義運動が広がった。

1925年7月、国民党は [ 39 ] で国民政府樹立を宣言し、翌年には蔣介石を総司令とする国民政府軍が北伐を開始した。1927年4月には蔣介石が上海クーデタをおこして共産党を弾圧し、南京に国民政府を樹立して主席となった。一方、中国共産党は、1931年に江西省の瑞金を中心に毛沢東を主席とする中華ソヴィエト共和国臨時政府を成立させた。国民党に追われた共産党は1934年から長征を開始し [ 40 ] に根拠地を移した。

国民政府は、日本の中国進出に対応するより、共産党との戦いに力を入れていた。しかし、満州事変以降抗日運動が全国に広がり、1936年におこった西安事件をきっかけに翌年には第2次国共合作が成立し、抗日民族統一戦線が結成された。また、

同年日中間の全面戦争がはじまった。

第二次世界大戦後には、国共内戦が再開され、共産党が優勢となった。1949年、毛沢東を主席、 を首相とする中華人民共和国が樹立され、国民党の蒋介石は台湾にのがれた。1950年、中華人民共和国は中ソ友好同盟相互援助条約をソ連と締結し、社会主義陣営に属することを明らかにした。

1959年、毛沢東に代わって国家主席となった劉少奇は、計画経済を見直し調整政策をとった。同年、チベットで反中国運動が<sup>(6)</sup>おこり、これを鎮圧した中国人民解放軍はインド軍とも衝突した。また、中国がソ連の進める平和共存路線を修正主義と<sup>(7)</sup>批判したことをきっかけに中ソ論争がおこった。劉少奇らの路線に反発する毛沢東らの左派が劉少奇らを修正主義者と非難し、1966年プロレタリア文化大革命をはじめた。10年間に及ぶ文化大革命は、中国に大混乱と停滞をもたらした。

1976年、毛沢東が死去すると、文化大革命推進派が逮捕され、文化大革命は終息した。1981年には、 を中心とした新指導部が成立して一連の<sup>(8)</sup>経済改革が実行され、中国の著しい経済発展が始まった。

問1 文中の空欄  ～  に入る語句として適当なものを、次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。  ～

- |                                 |          |          |
|---------------------------------|----------|----------|
| <input type="text" value="36"/> | ① 義和団事件  | ② 太平天国の乱 |
|                                 | ③ 甲午農民戦争 | ④ 戊戌の政変  |

- |                                 |        |         |
|---------------------------------|--------|---------|
| <input type="text" value="37"/> | ① ウイグル | ② ベトナム  |
|                                 | ③ ブータン | ④ 外モンゴル |

- |                                 |         |          |
|---------------------------------|---------|----------|
| <input type="text" value="38"/> | ① 五・四運動 | ② 五・三〇運動 |
|                                 | ③ 仇教運動  | ④ 三・一運動  |

39

- ① 北京  
③ 杭州

- ② 広州  
④ 洛陽

40

- ① 延安  
③ 重慶

- ② 漢口  
④ 武昌

41

- ① 華国鋒  
③ 江青

- ② 周恩来  
④ 林彪

42

- ① 胡錦濤  
③ 趙紫陽

- ② 江沢民  
④ 鄧小平

問2 文中の下線部(1)に関連して、列強各国の勢力範囲の組合せとして正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

43

- ① イギリスー広東西部・広西地方 ドイツー山東地方 フランスー長江流域  
② イギリスー広東西部・広西地方 ドイツー長江流域 フランスー山東地方  
③ イギリスー長江流域 ドイツー広東西部・広西地方 フランスー山東地方  
④ イギリスー長江流域 ドイツー山東地方 フランスー広東西部・広西地方

問3 文中の下線部(2)に関連して、この暴動の原因の説明として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

44

- ① 科挙の廃止に反対して、暴動がおこった。  
② 清朝政府が発表した三民主義に反対して、暴動がおこった。  
③ 西太后による変法運動弾圧に反対して、暴動がおこった。  
④ 幹線鉄道の国有化に反対して、暴動がおこった。



問4 文中の下線部(3)の初代委員長となった陳独秀についての説明 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

45

- a 『狂人日記』や『阿Q正伝』などを著し、白話運動を推進した。
- b 雑誌『新青年』を発刊して欧米の思想を紹介し、儒教思想を批判した。

- ① a－正      b－正                      ② a－正      b－誤
- ③ a－誤      b－正                      ④ a－誤      b－誤

問5 文中の下線部(4)に関連して、この事変や満州国の説明として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

46

- ① 関東軍は盧溝橋事件を口実に東北地方を占領した。
- ② 清朝最後の皇帝の光緒帝が満州国の執政となった。
- ③ ソ連は、満州国を承認した。
- ④ リットン調査団は、満州国を承認しなかった。

問6 文中の下線部(5)に関連して、この事件で蒋介石を監禁した人物を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

47

- ① 汪兆銘                      ② 段祺瑞                      ③ 張学良                      ④ 張作霖

問7 文中の下線部(6)に関連して、当時の状況の説明として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

48

- ① 当時のインドの首相はガンディーであった。
- ② 当時のインドはパンジャブ地方の領有権をめぐりパキスタンと対立していた。
- ③ チベット反乱で中国に弾圧されたダライ＝ラマ14世は、インドに亡命した。
- ④ チベット反乱中、インドは核保有国になった。

問8 文中の下線部(7)に関連して、平和共存路線を打ち出した当時のソ連の第一書記として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

49

- ① ゴルバチョフ
- ② スターリン
- ③ フルシチョフ
- ④ ブレジネフ

問9 文中の下線部(8)についての説明として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

50

- ① 経済改革と同時に政治体制の民主化がすすめられた。
- ② 経済特区が設置され、外資系企業が盛んに誘致された。
- ③ 農村で人民公社の設立がすすめられた。
- ④ 経済改革の一環として、「大躍進」運動が実施された。